BX 文化シヤッター

Life in & Lifelong Partnership
文化シヤッターはお客様に安心・安全を提供する「快適環境のソリューショングループ」を目指します。

見て、触れて、知ることのできる「安心」があります。

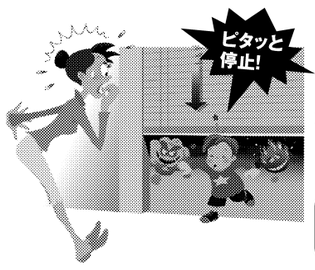
文化シヤッターは「第2回東北／防災・減災ソリューションフェア」に出展します。

文化シヤッターは、緊急時の人的・物的被害を最小限に抑える製品をご提案しています。(出展製品の一部をご紹介します。)

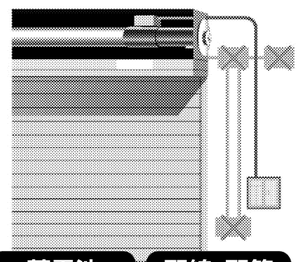
防災製品　火災時の安全な避難をサポートする

機械式危害防止装置
エコセーフ　防災管理併用 防火/防煙シャッター用

火災避難時にシャッターの挟まれ事故を防ぎながら、バッテリーレスで省エネにも貢献します。



障害物を感知するとシャッターが停止!!
▼
障害物を取り除くと再降下。だから安心!



充電用電源供給不要　蓄電池交換不要　配線・配管工事不要

不燃シート製 防煙たれ壁
ケムストップ

火災時の煙の進行を妨げる役割を果たすことはもちろん、シート製のため、落下時の割れ、飛散を防止。安全性と施工性が向上しました。

火災時の煙の進行を止める!!

軽い!　割れない!　飛散しない!

止水製品　豪雨時の浸水被害を抑える

止水・耐水フロント
Fフロント(水防タイプ)

耐水圧性を高めたアルミフロントと、軽量・コンパクトな止水シートがセットに。ゲリラ豪雨時もスピーディに設置でき、浸水被害を抑止します。

こんな大雨でも
⇒
屋内への浸水はわずか!

スピーディ!　軽量!　コンパクト!　水位50cmに耐えるフロント!

第2回東北／防災・減災ソリューションフェア

開催時期／2014年3月12日(水)、13日(木)　10:00～17:00
開催場所／夢メッセMIYAGI C1ブース(仙台市宮城野区港3丁目1-7)
詳細は　http://www.bunka-s-pro.jp/exhibition/miyagi/2014.html

実演・体験コーナーもあります!
設置や組立の実演や、実際に製品に触れていただき、製品のメリットをご体感ください。

文化シヤッター株式会社　〒113-8535 東京都文京区西片1丁目17-3　TEL.03-5844-7111　http://www.bunka-s.co.jp/

「新しい東北」の創造　復興事業加速

被災からの復旧・復興は東北地域だけでなく、わが国の最重要課題だといえる。総力を挙げて、復旧・復興作業を加速しなければならない。「新しい東北」の創造を掲げる復興庁は2013年11月に「東日本大震災からの復興状況に関する報告」を行った。公共インフラは着実に事業計画を進めている。約47万人に上った避難者は28万人まで減少したが、住宅再建と復興まちづくりに関して一段と加速させる。震災復興の中で日本のみならず世界から復興のモデルとなるよう、産学官連携の取り組みも推進している。

モデル先導事業を選定

復興庁、幅広い取り組み支援

「新しい東北」の創造は人口の減少や高齢化、産業の空洞化といった、これまで東北地域が抱えていた課題をそのままにして復旧するのではなく、これまでの課題を解決し、同じ課題の解決に取り組む日本の地域、さらには世界のモデルになる「創造と可能性ある未来社会」の形成を目指している。

具体的には①元気で健やかな子どもの成長を見守る安心な社会②「高齢者標準(低下した高齢者の身体・認知機能を標準とする)」による活力ある超高齢社会③持続可能なエネルギー社会(自律・分散型エネルギー社会)④頑健で高い回復力を持った社会基盤(システム)の導入で先進する社会⑤高い発信力を持った地域資源を活用する社会―という五つを柱に挙げている。

復興庁では民間企業、大学・研究機関、NPO法人など幅広い担い手による先導的な取り組みを加速するため「新しい東北」モデル先導事業を選定し、支援している。13年度は66件が採択され、地域資源の活用として「中山間地における植物工場の活用」事例などが選ばれている。

復興事業では植物工場に高い関心が寄せられる。植物工場は水・温度・光を制御し、土を使わずに野菜を水耕栽培するシステム。安全で安心に食べることができる野菜を生産する植物工場は東北地域の農業復興だけでなく、農商工が連携した未来型農業システムの構築にもなるといわれている。政府の「新しい東北」モデル先導事業では福島県白河市でJA東西しらかわが完全人工光型水耕栽培システム「みりょく満点やさいの家」を立ち上げている。

このほかにも会津富士加工や富士通グループが同県会津若松市で低カリウムレタスの生産を、また、同県双葉郡川内村が民間企業と連携してリーフレタスの生産を行うなど、東北地域における植物工場事業開発の取り組みが加速しているところだ。

「新しい東北」モデル先導事業は現在、14年度の公募を行っている。14年度は「横断的課題支援事業」と「プロジェクト事業」の2区分。公募期間は横断的課題支援事業が現在募集中で3月20日12時まで、プロジェクト事業は4月1日から18日12時までとなっている。応募資格は復興に取り組む法人・団体。ただし、企業や地方公共団体が単独で応募することはできない。また、プロジェクト事業では被災地の法人・団体が構成団体に含まれる必要がある。支援対象となる取り組みや経費の範囲、選定基準などは復興庁ウェブサイトの調達情報で公開されている。

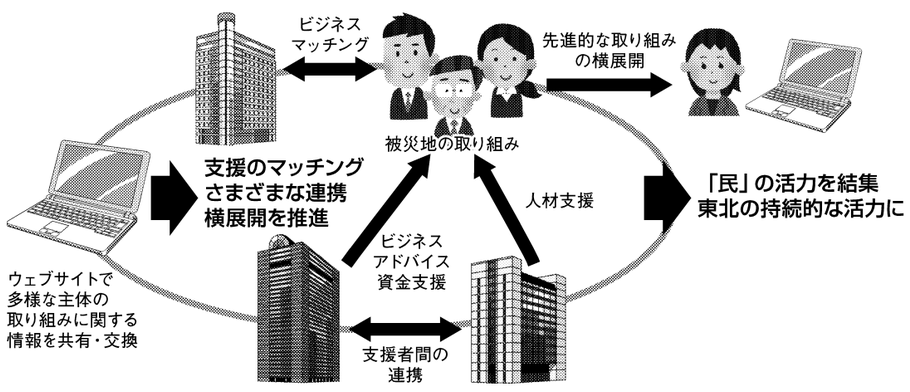
官民連携を推進

協議会設立し活動拡大

13年10月、復興庁は「新しい東北」官民連携推進協議会設立を発表し、会員を公募。12月に協議会を発足させた。14年2月の時点で登録会員企業・団体は681。同協議会ではウェブサイトを通じて、被災地で展開されている会員企業・団体の取り組みを紹介し、さまざまな連携を推進している。会員の新たなビジネスチャンスを生み出しながら、東北の持続的な活力に結びつけていく。3月31日まで第3次会員募集も行っており、応募要件では経済団体、各種協同組合、民間企業、NPO法人、一般社団・財団法人、独立行政法人、大学などの役員クラスが対象となっている。

政府が岩手・宮城両県の災害廃棄物処理などについての完了目標として設定していたのは13年度内。環境省が14年2月に発表した岩手、宮城、福島の避難区域を除いた沿岸市町村における「災害廃棄物等処理の進捗状況」によれば、岩手県で97%、宮城県で99%、福島県で66%と、着実に処理は進んでいるといえるだろう。しかし、廃棄物処理の完了が復旧の完了ということにはならない。復旧は元の状態に戻すことである。復興はさらにその先だ。

一日も早く復旧、そして復興すべく、産学官は連携し「新しい東北」づくりに取り組んでいる。



「新しい東北」官民連携推進協議会の取り組み(ホームページより作成)

岩手県、宮城県、福島県(避難地域を除く)における災害廃棄物処理の進捗状況

進捗状況	岩手県	宮城県	福島県
処理完了	田野畑村、岩泉町、釜石市	利府町、松島町、亘理名取ブロック(名取市・岩沼市・亘理町分)	―
9割以上	洋野町、久慈市、野田村、普代村、宮古市、山田町、大槌町、大船渡市、陸前高田市	気仙沼ブロック(気仙沼市、南三陸町)、石巻ブロック(女川町、石巻市、東松島市)、宮城東部ブロック(塩竈市、多賀城市、七ヶ浜町)、仙台市、亘理名取ブロック(山元町分)	いわき市
8割以上	―	―	新地町、相馬市

(2014年1月末現在、環境省資料より作成)

防災・減災に関する展示会のご案内

本展示会、ゾーンでは、企業が取り組むべき防災対策(＝BCP)、自治体や一般家庭も取り組むべき備え、モノづくり産業でのサプライチェーンの維持など、「防災/減災」を幅広く訴求します。

スマートコミュニティJapan 2014
第2回 防災・減災対策ゾーン

会期　2014年 6月18日(水)～20日(金)
会場　東京ビッグサイト(東ホール)
主催　日刊工業新聞社
詳しくは公式HPから　http://www.nikkan.co.jp/eve/smart/

第3回 東北／防災・減災ソリューションフェア

2015年3月
「第3回 国連防災世界会議」仙台開催決定!

会期　2015年 3月(予定)
会場　夢メッセみやぎ(宮城県仙台市)
主催　日刊工業新聞社
詳しくは公式HPから　http://www.nikkan.co.jp/eve/tohoku-bousai

出展対象

災害対策　地震(緊急地震速報システム、耐震技術 など)、火災(火災報知器、消火器、消火システム など)、
津波・水害(止水板、ポンプ、防水シャッター、観測・予測システム、洪水対策技術 など)、
土砂(土砂・落石探知システム、土のう、GPS・GIS など)、
雷害(避雷器、雷防護関連製品、コンピューターバックアップシステム など)、
突風・竜巻(気象監視技術、解析システム など)、
BCP(事業継続計画)、
避難所支援(浄水器、造水機、プライバシー保護関連製品、非常食、仮設テント、災害用トイレ など)、
医療・介護支援(救急搬送システム など)、
総合防災システム(ライフライン復旧・確保、ハザードマップ、防災コンサルタント など)

分散型電源　ディーゼルエンジン、マイクログリッド、コージェネレーション・システム、自家用発電機、蓄電システム など

お問合せ　日刊工業新聞社 業務局イベント事業部　〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1　TEL：03-5644-7221　FAX：03-5641-8321　E-mail：j-event@media.nikkan.co.jp　URL：http://www.nikkan.co.jp/eve/